

「乾田直播栽培」の検証について

■概要

急速に技術普及が進む「乾田直播栽培」について、本市における乾田直播栽培技術を活用したコメの作付けについて、生育状況や収量など、その実効性の検証を目的として、試験栽培を行うものである。

【基本情報】

	作付品種	作付面積	播種量	平均単収
取組者 B	めんこいな	6ha	8 kg/10a	240 kg

【ほ場の作業】

直播栽培のため、移植栽培と比較するとほ場における作業時間が短縮される傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
5/19～5/31	・ロータリー耕起 (トラクター/標準ロータリー)	—
6/6～6/19	・基肥散布 (ブロードキャスター)	・SBX Type Organic (40 kg/10a) ・節水型水稻一発 765 (30 kg/10a)
6/9～6/13	・圃場鎮圧 (駆動鎮圧ローラー)	—

【播種の作業】

直播栽培のため、移植栽培と比較するとほ場における作業時間が短縮される傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
6/11～6/19	・播種(不耕起 V 溝直播機)	—

【発芽期の作業】

乾田直播のため、ほ場が乾燥状態であり、作業効率が高い傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
6/18～6/22	・除草剤散布 (ブームスプレーヤー) ※一部圃場で出芽の為中止	・タッチダウン (100ml/10a を 1,000 倍希釈) ・マーシエット乳剤 (100ml/10a を 1,000 倍希釈)
6/22～6/27	・発芽を確認	—
6/29～	・除草剤散布 (ブームスプレーヤー)	・トドメバス (1,000ml/10a を 1,000 倍希釈)

作業日	作業内容	使用資材
6/30～	・追肥 (ブームスプレイヤー)	・ぐんぐん伸びる根 (20g/10a を 5,000 倍希釈) ・K3 アイアンプラス(混用) (10g/10a を 10,000 倍希釈) ・テカミン MAX(混用) (20g/10a を 5,000 倍希釈) ・べっかい 400R(混用) (20g/10a を 5,000 倍希釈)

【発芽期から出穂期までの作業】

畑地雑草が繁茂する傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
8/5～	・除草剤散布 (ブームスプレイヤー)	・ロイヤント乳剤 (200ml/10a を 5,000 倍希釈)
8/18～	・出穂を確認	

【出穂期から収穫までの作業】

慣行栽培でも落水期であるため、作業自体は変わらない。

作業日	作業内容	使用資材
8/25～	・防除:いもち病 (ドローン)	・ラブサイト (5ml/10a を 24倍希釈)
9/18～9/20	・防除:カメムシ (ドローン)	・スタークル (5ml/10a を 24 倍希釈)
10/20～10/27	・収穫 (コンバイン)	—

【観測写真】

月	近景	遠景
5 月		
<p>・播種前の耕起状態、部分的に水が溜まっていて、水分を含んでいる。</p>		
6 月		
<p>・圃場全体に発芽していることが見て取れるが、手前は水に浸かっている。</p>		
7 月		
<p>・背丈も伸び、分けつが進んできたようだ。部分的に生育にムラがある。</p>		

<p>8 月</p>		
<p>•雑草の抑制がされ、草丈も伸び、概ね生え揃っている。</p>		
<p>9 月</p>		
<p>•圃場全体で穂が出揃い順調な様子、まだ青々としている。</p>		
<p>10 月</p>		
<p>•籾の硬化がみられるが、この時期でも未だ圃場全体で、葉色が青々としている。</p>		